

ABSに関して日本/沖縄の提供側と
してのポテンシャルに関して
— 地域での取り組みの事例紹介 —

岡田吉央

沖縄・生物多様性市民ネットワーク
豊見城支部 事務局長

今日の話の流れ

- 私のBack Ground
- 沖縄の生物資源活用 of 概観
- 沖縄の歴史
- 生物多様性条約との関係
- COP10での沖縄の取り組み
- 沖縄の生物多様性の現状—環境と法制度—
- 沖縄でABS法制度整備の現状

私のBack Ground

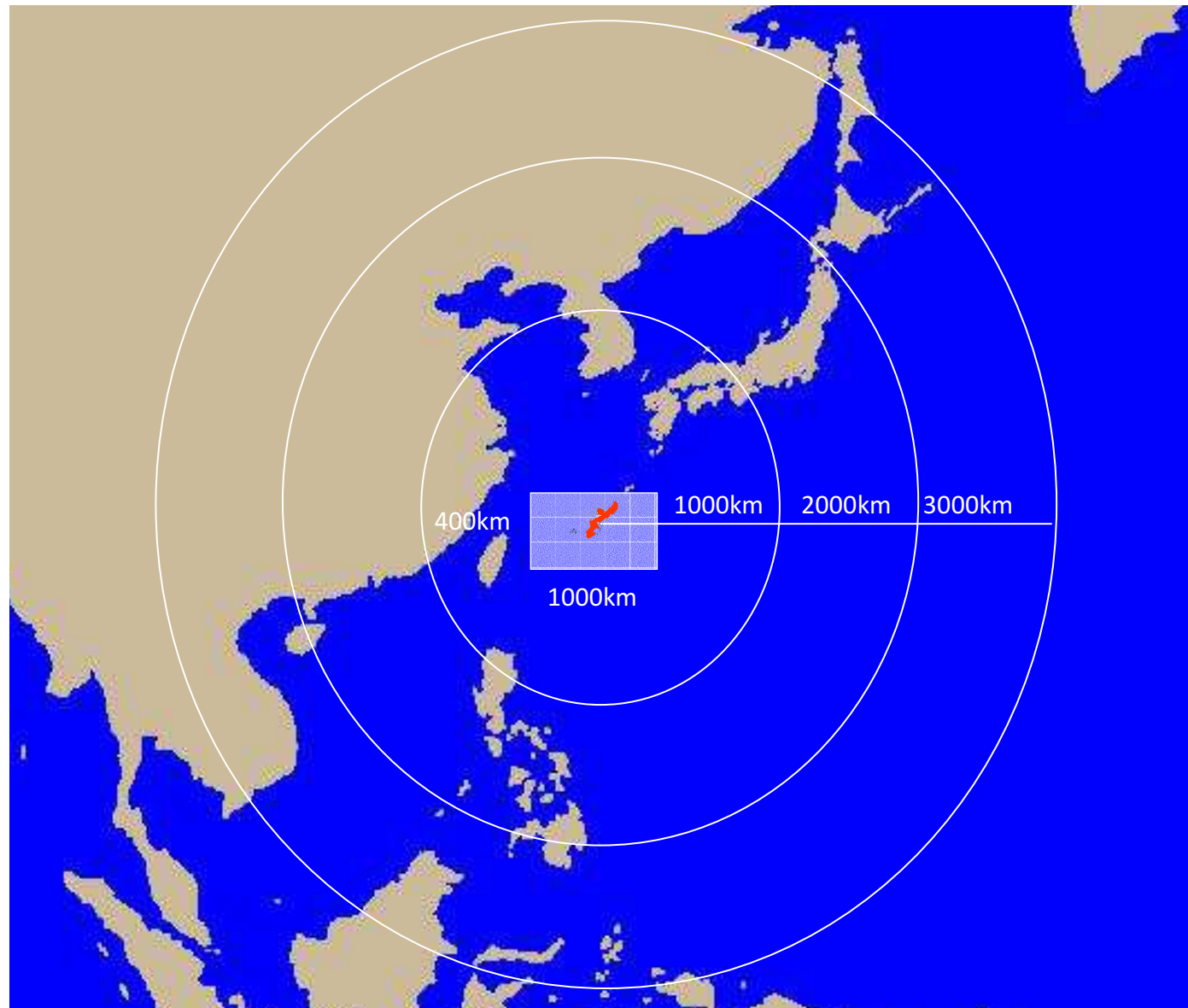
キーワード

- 遺伝子組み換え
 - バイオテクノロジー
 - フランス、UK
 - 理化学研究所
- @東京

Back Ground つづき

- 沖縄では植物資源で化粧品の研究開発
- 大阪の大学と共同研究
- 現在は日本各地の企業で沖縄進出のケース（研究開発で）を支援する立場

Okinawa prefecture, location and area



Latitude 24-28°N
East-West
1,000km
North-South
400km

生物資源の起源

- ・ユーラシア大陸
- ・東南アジア
- ・ポリネシア
- ・オセアニア
- ・日本列島

西太平洋

沖縄の地史150万年前

1.5 million years ago



100万年前

1 million years ago



琉球諸島

ユーラシア大陸の東側に張り出した弧状の列島。プレート運動とサンゴ礁のはたらきによって、太古から大陸や日本列島と陸続きになったり離れたりを繰り返し、島々が形成された。

「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋

Where is Okinawa? ~Global~



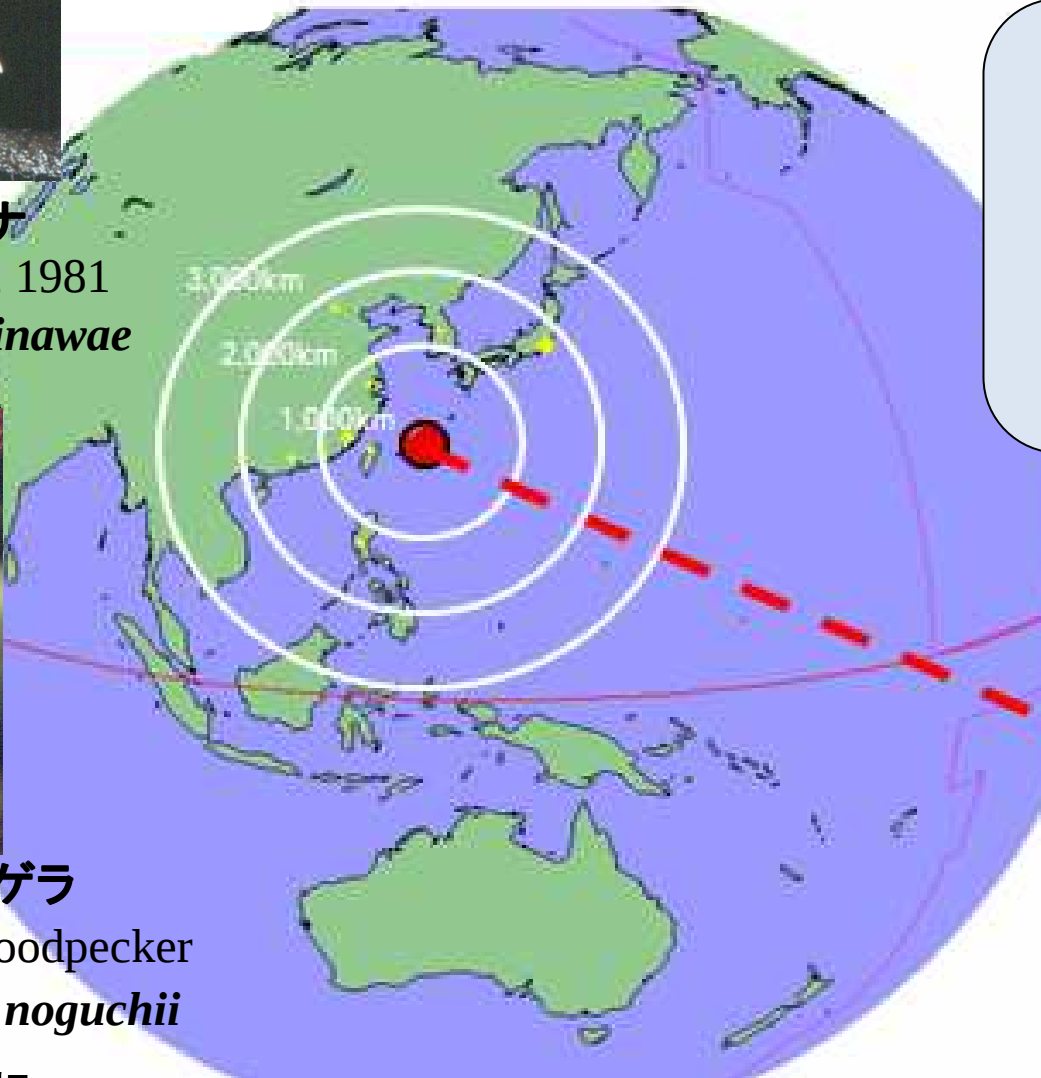
ヤンバルクイナ
Okinawan rail, 1981
Gallirallus okinawae



ノグチゲラ
Okinawan woodpecker
Sapheopipo noguchii

写真: 花城卓起

イリオモテヤマネコ、1967年 コウモリの新種、1997年



TAIPEI 630Km
SHANGHAI 830Km
BEIJING 1,400Km?
SEOUL 1,260Km
HONG KONG 1,440Km
TOKYO 1,550Km
OSAKA 1,200Km



OKINAWA
MAINLAND

沖縄本島北部 山原(やんばる)の生物多様性 東洋のガラパゴス？



沖縄の固有種

動物11種
植物12種

「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋

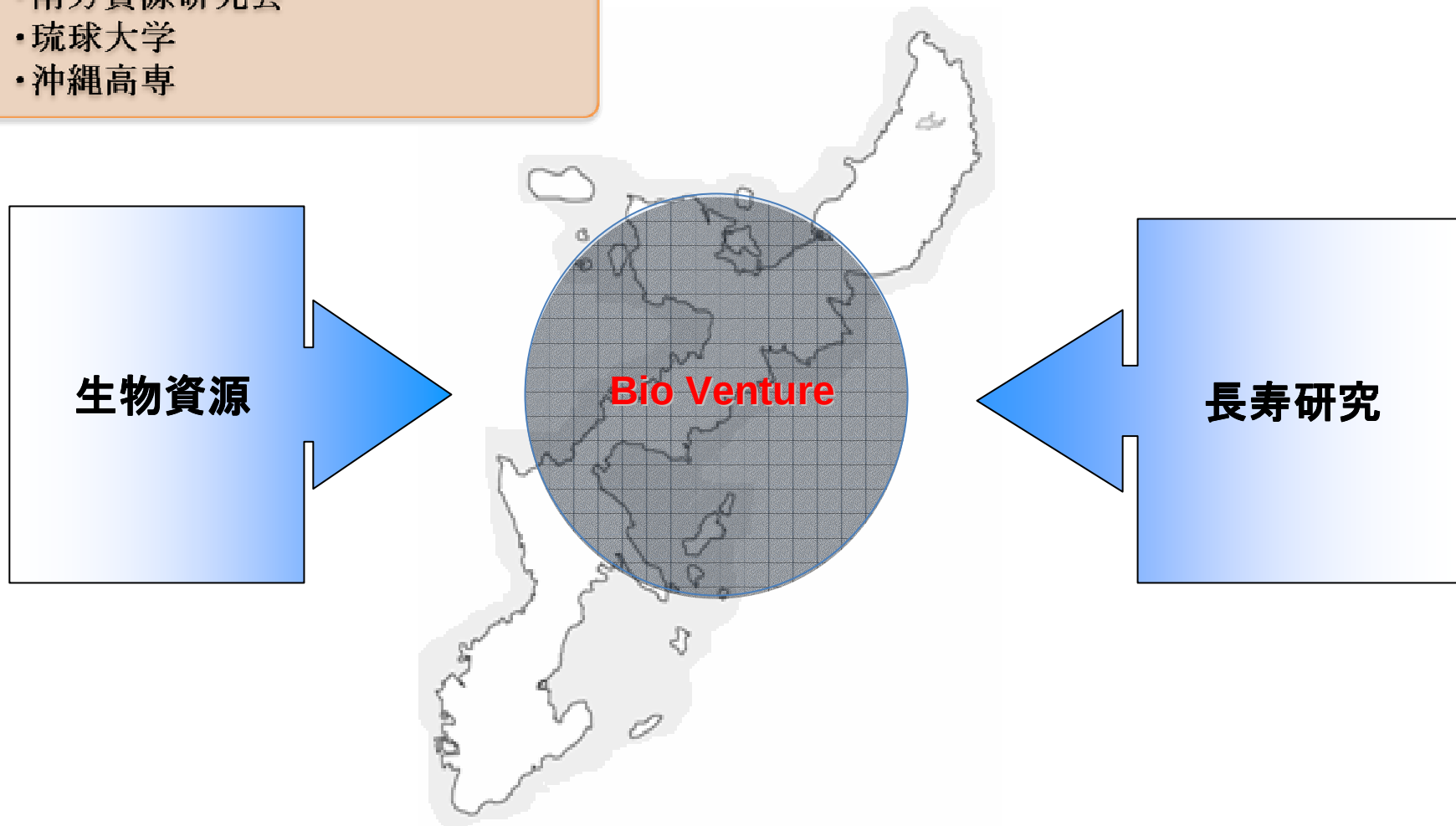
生物資源の研究開発から産業振興を

- 基地経済からの脱却
- 自立型経済へ

沖縄における生物資源としての研究

研究機関 学会など

- ・南方資源研究会
- ・琉球大学
- ・沖縄高専



沖縄の生物資源の代表例

Marine



珊瑚類



海綿



もずく



海ブドウ



ウコン



クワンソウ



シークワーシャー



長命草



パパイヤ



クミスクテン

Land

多様な亜熱帯生物資源
(代表例)

沖縄県での生物資源研究開発と商品化 経済効果の視点から

- ウコン
- ゴーヤー
- マンゴー

生物多様性条約が必要！

- 特許では権益が守れない
- 少数民族か？

琉球王国/沖縄の歴史

- 1609年 薩摩 侵攻(琉球王国が半植民地)
- 1879年 琉球処分(琉球王国が消滅)
- 1945年 沖縄戦(以降27年間は米軍政下)
- 1972年 沖縄の日本復帰 40周年

他県と同列には論じられない

- 韓国で日本名を強制、日本語を国語とした

類似の状況で、国連の定義では「少数民族」

国連の定義で「少数民族」とは

- 法的な平等が確保されていない

海外

在日米軍再編：普天間移設 国連委、日本に質問状提出へ 「先住民差別の恐れ」

【ジュネーブ伊藤智永】国連の人種差別撤廃条約の委員会（事務局・ジュネーブ）は、在沖縄米海兵隊・普天間飛行場（宜野湾市）の辺野古（名護市）移設計画が歴史的な琉球先住民差別に当たる恐れが強いとして、日本政府に対し、人権侵害問題の観点から計画の現状や地元住民の権利を守る具体策について説明を求める異例の質問状を出す。

日本政府は7月31日までに回答しなければならない。委員会は8月の次回国会期で、日本政府の回答も検討しながら、普天間移設計画が人種差別撤廃条約に違反しているか審査する。沖縄住民の権利を守る方向で移設計画を見直すよう勧告を出す可能性が高い。

これは2月10日、国連の会議に参加資格を持つ非政府組織（NGO）「反差別国際運動」（事務所・ジュネーブ）と、沖縄の琉球文化伝承や自然保護に取り組むNGOが、普天間移設計画を人種差別撤廃条約違反だとして、委員会に通報したのを受けて行われている手続きの一つ。

日米両政府は2月、普天間移設と切り離して米海兵隊のグアム移転を先行させるなど、沖縄に米軍基地負担を残す方向で計画が動き出している。このため、NGO側は人種差別撤廃委員会に「重大な条約違反を防止し、効果的に対応するため」93年に設けられた「早期警戒措置・緊急手続き」の発動を要請した。

委員会は、要請の採否を条約加盟各国から選ばれた5人の人権問題専門家による作業部会で検討。今月6日には18人の委員全員による討議で、NGOの訴えについて日本政府の言い分を確認するため、質問状を出すことを決め、9日付で採択した。

質問状は、条約違反の恐れがある計画として、普天間飛行場の辺野古移設と、在沖縄米軍北部訓練場の一部返還に伴う東村高江のヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）建設を指摘し、人権侵害ではないのか、住民の訴えに日本政府としてどう対応しているのか、などを問いただしている。

毎日新聞 2012年3月13日 東京朝刊

普天間：国連 住民の権利保護の観点で日本に質問状

要案帳：もったいない

玄葉外相：23・24日に沖縄訪問で調整

玄葉外相：23・24日に沖縄訪問で調整

普天間飛行場の移設問題

環境保全上の沖縄の現況 概観

- 沖縄海洋博(1975年)

赤土、埋め立て

石垣島

やんばる

乱開発 無駄な公共工事

沖縄では1972年の日本復帰後、沖縄振興開発特別措置法にもとづき、多額の高率補助金が、日本政府により投入されてきました。高率補助金による無謀な公共工事によって、太平洋戦争の戦禍をまぬがれてきた残り少ない沖縄の貴重な自然も破壊が進み、深刻化しています。

Ill-advised Development Wasteful Public Works Projects

Since the reversion of Okinawa from US to Japan in 1972, a large number of public works projects, highly subsidized by the Japanese government, have been carried out based on the Act on Special Measures for the Promotion and Development of Okinawa. Many of them are ill-advised development projects and they have been destroying the precious nature of Okinawa, which had escaped the devastating effects of the Pacific War.

国際海洋博覧会(海洋博)

1975～1976年、「日本復帰」後の沖縄の「経済の起爆剤」を目的とし、「海、その望ましい未来」をテーマに海洋博が開催されました。海洋博会場へのさまざまな大規模公共工事によって、沖縄の面で豊かな自然は破壊され、大きく変貌しました。

International Ocean Exposition, Okinawa (Expo'75)

In 1975/1976, International Ocean Exposition, with the theme of "Ocean and its desirable future", was held to boost economic opportunity for Okinawa after its reversion to Japan. The Expo '75 project, accompanied with huge public works, destroyed some of the rich, but fragile nature in Okinawa.



海洋博会場予定地の本部半島は、自然が豊かで、とても豊かな半島半島の繁華だった。豊かな自然は破壊され、周辺の漁民の漁獲量は約三分の一に減り、漁業従事者も半減し、農漁業が衰退、地域共同体も破壊された。

Motobu Peninsula, site of Expo '75, used to be a quiet and peaceful community with rich nature, based on agricultural and fishing economy. The Expo '75 project, however, destroyed the nature and their economy. Fish catches went down to one-third and the number of farmers fell to one half. The project eventually destroyed the community.

海洋博終了翌年の1977年から、ポスト海洋博として始まった公共工事・大規模な林道工事。森林伐採は、貴重なやんばるの森の生態系に壊滅的な打撃を与えている。

In 1977, "post-Expo projects" began in Okinawa. In the Yamburu area, forest road construction and clear-cutting projects have damaged and continue to damage the ecosystem of Yamburu Forests.



イタジキ林を切りひらいて進む大規模林道工事
Okuni Forest Road construction in Itajiki forest.



「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋



土壌改良の赤土が流れ込んだ石垣島の川平湾(1990年7月、写真提供・共同通信)
Land improvement project triggers "red soil" runoff into Katsina Bay, Ishigaki Island. (July 1990)

「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋

米軍基地の問題

- 沖縄島の20%を占める
- 訓練の空域と海域

特定の地域に対する「差別」である



「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋

国際的な比較で類似の例

- UK と アイルランド
- フランス と コルシカ島、 海外県
- カナダ と イヌイット
- オーストラリア と アボリジニー

日本では アイヌ と 沖縄

普天間基地 の 名護市 辺野古 へ 移設

- 立地選定の合理性の無さ

軍事基地の立地は典型的な問題の1つ

沖縄BD(生物多様性市民ネットワーク)の 名古屋COP10 での取り組み

- 設立 2009年 7月
- 文化、 平和、 環境、 人権

ABS は minimum

沖縄BD(生物多様性市民ネットワーク)の 名古屋COP10 での取り組み つづき

- 写真展
- 平和劇

国際会議での話題から ABS、 少数民族 へ

フォト アルバム

作成者 : yokada

Citizens' Network for Bio
Diversity in Okinawa

沖縄・生物多様性
市民ネットワーク







地から
公園
Okinawa

What makes us want to move to your country?

It's our treasure, the world class ocean.

The deeply marine water

Our monitoring system avoided the large amount of damage to the environment.



U.S. Military Bases in Okinawa

U.S. Military Bases in Okinawa

U.S. Military Bases in Okinawa



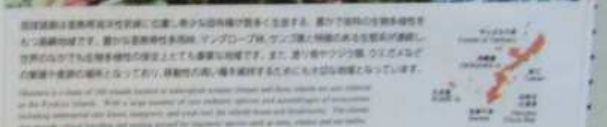
Ensenko / Oura Bay: Mura's Sea

Ensenko / Oura Bay: Mura's Sea



Yanbaru: Subtropical Forest

Yanbaru: Subtropical Forest



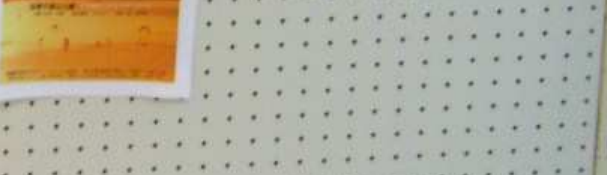
Yanbaru: Subtropical Forest

Okinawa: Our Small Islands, Our Treasured Biodiversity.

UPL

http://www.okinawa-biodiversity.com/

沖縄・生物多様性市民ネットワーク
Citizens' Network for Biological Diversity in Okinawa







輝くやんばるの森



輝くやんばるの森 固有種の宝庫



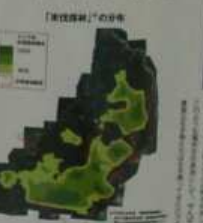
◆固有種の宝庫
「輝くやんばるの森」は、固有種の宝庫。ここでは、固有種の宝庫について、詳しく紹介します。

◆固有種の宝庫
「輝くやんばるの森」は、固有種の宝庫。ここでは、固有種の宝庫について、詳しく紹介します。



輝くやんばるの森 やんばるに固有種が 沢山いる理由

◆やんばるに固有種が多い理由
「輝くやんばるの森」は、固有種の宝庫。ここでは、固有種の宝庫について、詳しく紹介します。



◆やんばるに固有種が多い理由
「輝くやんばるの森」は、固有種の宝庫。ここでは、固有種の宝庫について、詳しく紹介します。

フォーラム COP10・沖縄からの問題提起 沖縄の生物多様性の危機: COP10議長国で何が起こっているか

10月24日(日) 15:30-17:30 名古屋学院大学体育館小会場 (生物多様性交流フェア会場内)

環境アセスの国際的専門家松井国俊さんと、平和/女性人権問題の第一人者高里鈴代さんを迎え、沖縄の生物多様性の危機的状況と、その意味を議論します。特に米軍基地建設に関する環境アセスがいかにわが国の生物多様性政策の趣旨からかけ離れ、ダブルスタンダードであるか、そして沖縄において「環境」「平和」「人権」がいかに結びついているかが論点となるフォーラムです。

報告1

普天間・辺野古問題への無関心は日本の未来を奪う

桜井 国俊

沖縄大学教授
環境アセスメント学会評議員、沖縄環境ネットワーク世話人

日本の公害問題の少なからざる部分が汚染産業・企業を途上国に移転させることで解決してきたことを痛感し、視野と活動の場を途上国に広げ、南太平洋大学開発研究所研究員(フィジー)、WHOアメリカ地域事務所環境専門官(ペルー)、国際協力事業団国際協力専門員として途上国の環境問題の解決に現場重視で取り組んできた。2000年より沖縄大学教授として熱帯亜熱帯島嶼諸国の開発と環境の問題を中心に研究・教育活動を展開している。2004年度から2009年度まで沖縄大学学長。
多年にわたる途上国の環境・開発問題への取組が評価され、2009年度外務大臣表彰受賞。

司会者

吉川 秀樹 沖縄・生物多様性市民ネットワーク事務局長
人類学者、沖縄県立芸術大学、琉球大学、名桜大学非常勤講師、沖縄の辺野古・大浦湾における米軍基地建設計画とジュゴン保護の問題に関わり活動続ける。

主催・連絡先 CBD市民ネット沖縄地域作業部会/沖縄・生物多様性市民ネットワーク
吉川 秀樹 090-2516-7969 HP <http://www.bd.libre-okinawa.com/>

私たちは、COP10開催を機会に、沖縄の生物多様性の保護と持続的利用のために結成された、市民とNGOのネットワークです。「平和」「人権」「環境」の繋がりを柱に、活動をしています。

共催 沖縄大学地域研究所(IUCN会員)

沖縄大学が誕生して50年、「地域共創・未来共創」を宣言し、新しい半世紀を歩み出しました。地域研究所は琉球列島を視野に入れながら、地域での有効な行動を心がけたいと考えています。初代所長は宇井純。

関連イベント: 10/22 生物多様性シンポジウム&沖縄の歌と踊り、10/23 沖縄ジュゴンの保護と国際責任、琉球列島の生物多様性に対する脅威、舞台「アケギの夢」、10/26 生物多様性と平和、10/18-29 ポスターセッション

報告2

なぜ『環境』『平和』『人権』なのか

高里 鈴代

沖縄・生物多様性市民ネットワーク共同代表
基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表

沖縄キリスト教短期大学卒業後、ハリス・メモリアル大学(フィリピン)米軍基地から派生する諸問題検討委員会(沖縄県)、基本計画検討委員会(沖縄県)、那覇市議会議員(4期)等を務めた。
基地問題を女性への視点から捉え、広く社会に訴え、評価され、1996年「エ

MAP/ACCESS

生物多様性交流フェア会場
名古屋学院大学体育館小会場
名古屋市熱田区熱田西可1-25

地下鉄有明線
「西郷」駅2番出口より 徒歩5分
地下鉄名港線
「日比野」駅1番出口より 徒歩5分



沖縄県での地域戦略の取り組みに対してABSの視点からの陳情

陳 情 の 処 理 方 針

所管部局課名：文化環境部 自然保護課

陳 情 番 号 (受理年月日) (新規・継続別)	件 名 (陳情者の職、氏名) 陳 情 の 要 旨	処 理 方 針
陳情第 205号 (平成22年12月10日) (新規)	件 名 沖縄県の生物多様性に関する地域戦略の作成に関する陳情 提出者の住所、氏名 沖縄県宜野湾市志真志4-24-7-304 沖縄生物多様性市民ネットワーク 代表者 伊波義安、城間勝、高里鈴代 要 旨 沖縄県の生物多様性に関する地域戦略の作成を進めるに当たり、以下の2点を陳情します。 記 1 地域戦略の素案作成の初期からタウンミーティングを開くなど住民やNGOなどが主体的に関わり参加する進め方とし、業者(コンサルタント)への丸投げの立案は避け、縦割り行政を乗り越えて作成させる事。 2 地域の固有の遺伝的特徴を有する生物資源につき、県ではその商業利用を促す仕組み作りが進んでいるが、資源の流出や保全に問題が生じないよう、また利益の配分を伴わない形とならぬよう、地域戦略の中で又は別途に条例等の形で「利用と利益配分」の仕組み作りも進めさせること。	1 沖縄県生物多様性地域戦略(仮称)の策定につきましては、平成22年度より取り組んでいるところであり、平成22年度は、本県の沿岸域から陸域に至る自然環境の状況を把握するための既存文献資料の体系的な整理などを行ったところです。 また、生物多様性に関する普及啓発を目的とした講演会を、去る平成22年11月に那覇市で、平成23年1月に宮古島市、2月に石垣市において開催したところです。 平成23年度からは、生物多様性の保全と持続的な利用にかかる方向性や目標、行動計画等について本格的な検討を行うこととしており、県内各地で地域の人々の意見を聴くワークショップや、幅広い意見を交換するシンポジウム等を開催し、その成果を、有識者、行政機関、事業者団体、NPO等からなる戦略策定に向けた検討委員会へ反映させていきたいと考えております。 2 本県は、我が国唯一の亜熱帯海洋性気候のもと、多くの島々からなる島しょという地域特性から、多種多様な生物が生息・生育しており、特徴ある微生物資源を数多く有しています。 このようなことから、県では、微生物資源の有効活用による県内のバイオ関連産業の発展に寄与することを目的に、微生物資源について探索を行い、各種機能性分析や体系的整理を実施し、データベースを構築したところであります。 生物資源の利用と利益の配分については、本県のバイオ関連産業の発展に寄与するとともに、生物多様性の保全と持続的な利用を図る観点から、関係部局で連携し、その仕組みづくりについて検討していきたいと考えております。

乱開発によるやんばるの森の破壊



1972年の日本復帰後、日本政府による沖縄への米軍基地押しつけの見返りとして投入された多額の高率補助金による公共事業によって、やんばるの森の破壊は深刻化しています。

Rampant Development Destroys Yanbaru Forests

Since the reversion of Okinawa to Japan in 1972, the destruction of Yanbaru forests has been intensified: a series of highly subsidized public works initiated by the Japanese government has been carried out in the area in return for the presence of US military bases in Okinawa.



やんばるの森の破壊の元凶: 大國林道

大國林道は1977年から17年の歳月と約46億円の建設費(国費8割、県費2割)をかけた、大宜味村と国頭村の間のやんばるの森の真ん中を南北に36km縦断するアスファルト舗装の県道である。

Okuni forest road: the root cause of forest destruction in Yanbaru

The Okuni forest road is a 36 km long, asphalt paved prefectural road that runs through north to south in the middle of Yanbaru forests between Kunigami and Ogimi Villages. Starting in 1977, the 46 billion yen project took 17 years to complete.



森林伐採

森林伐採により、泥が流れ、野生の生き物たちは生息環境が破壊される。雨が降ると伐採地から赤土が流出して、川、海を汚染する。

Clear-cutting

Clear-cutting is a major cause of the deforestation of Yanbaru. While swamps have run dry and habitats for wild creatures have disappeared, "red soil" runs off from deforested land on rainy days, polluting rivers and the sea.

生き物たちの絶滅の危機

やんばるの森の生き物たちは、生息環境の破壊によって生存の危機にさらされています。生息域の分断、輪禍、側溝への転落死、野生化ネコやマングースによる食害などにより、野生生物の絶滅の危機は目を追って増えています。

Endangered wildlife

Living creatures of Yanbaru forests are being endangered by the destruction and degradation of their habitats. Habitat fragmentation, traffic-overrun, entrapment, accidental fall into roadside gutters, predation by stray cats and mongooses are factors contributing to the endangerment of wildlife in Yanbaru.



林道沿いの側溝に落ちた小動物 左:イガイモリ/右:ヤンバルクイナの雛
Small animals that fell into roadside ditches right:Anderson's crocodile newts / left:Infant Okinawan rats

車に轢かれたヤンバルクイナ
Okinawa rail road-kill

「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」名古屋cop10パンフレットからの抜粋

泡瀬干潟をつぶす愚かな埋め立て事業

この生物多様性豊かな干潟を埋め立てる開発計画が進行中です。国が海を浚渫しその土で埋め立てを行い、沖縄県が道路や下水道の整備を行い、沖縄市がその土地を買ってリゾート開発をするという計画です。埋立計画が市民に知らされてから、専門家、研究者、市民団体の調査により、泡瀬干潟の生物多様性が明らかにされ、この干潟の重要な価値がますます確認されてきていますが、埋め立て計画が続いています。

Reclamation Projects Destroy Awase Tidal Flat

The Japanese government, Okinawa prefecture, and Okinawa City have been proceeding with a series of reclamation projects in the Awase tidal flat on the eastern coast of Okinawa City. The governments intend to convert the area into a "resort" area. Concerned experts/researchers as well as citizens meanwhile have conducted a number of surveys on the flat, proving the rich biodiversity of the tidal flat. Although the environmental value of the flat is now widely recognized, it is unlikely that the projects are reviewed and halted in the near future.



「沖縄・生物多様性市民ネットワーク」 名古屋cop10パンフレットからの抜粋

守りたい！ 都心のオアシス豊

見城城址公園

＜ラムサール条約の登録湿地＞

東アジア全土、遠くはヨーロッパ、オーストラリアから渡ってくる鳥たちの中継地、漫湖の湿地とマングローブ森。

＜鳥獣保護区と豊見城城址＞

都会の中の水鳥の楽園を保護しながら、環境教育また観光資源として自然と共存する形で活用していくため、漫湖は鳥獣特別保護区に指定されています。この保護区に面し「豊見城」の名の由来にもなった豊見城城址が公園として残されています。

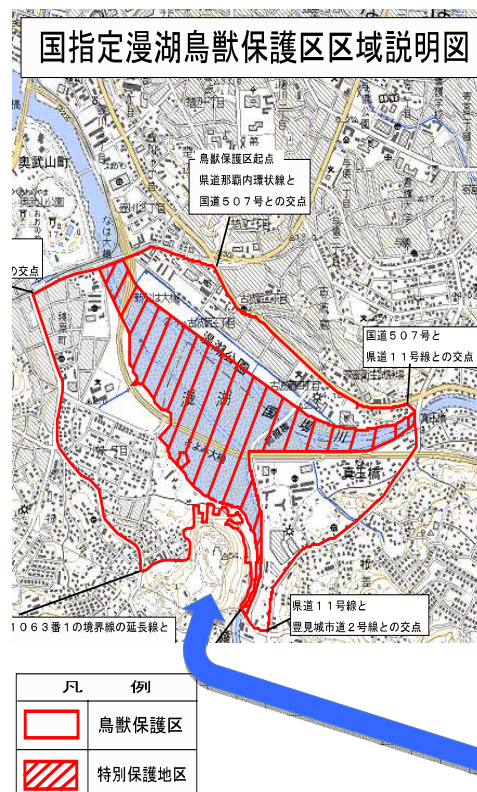
＜沖縄ハーリー由来の御嶽保全＞

沖縄の初夏の風物詩となっている手漕ぎの船のレース、ハーリー発祥の豊見瀬御嶽のあるこの公園は、沖縄本島中南部では今や貴重な生態系を保っている生物多様性のホットスポットです。

ハーリー発祥の地から想いをのせて

第9回ハーリー由来まつり～

豊見城城址の豊見瀬御嶽において、第9回ハーリー由来まつりを行いました。
一由来まつりは、古式にならい豊見瀬御嶽での神事（ティミグシクヌビイ）を継承し、地域の歴史や文化を伝えることを目的として平成15年に130年ぶりに復



生物多様性の危機

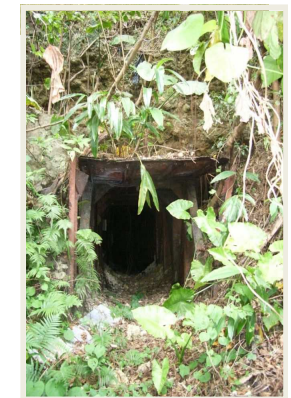
緑豊かだった場所が保護区解除され、火葬場建設と3本の道路建設（計約59億円）が計画されています。



豊見城城址公園の年表

- 13世紀～15世紀 琉球三山時代
南山王家の居城
汪応祖（わんおうそ）が築
- 城
- 1945年 沖縄戦で陸軍野戦病院に利用され消失
戦後は採石された
- 1960年代 観光施設誘致に乗り出す
- 1973年 豊見城城址公園オープン
- 1977年 鳥獣保護区
- 1982年 「山部隊野戦病院患者合祀碑」建立
- 1997年 特別鳥獣保護区
- 1999年 ラムサール条約登録
- 2003年 湿地センター オープン
ハーリー由来祭り（「豊見城上り」の神事を130年ぶりに復活した）開始
- 2004年 国土交通省で公園跡地の計画検討
- 2007年 鳥獣保護区から豊見城城址公園の周辺が外される

＜沖縄野戦病院壕と学徒隊合祀碑＞
豊見城城址内には、沖縄戦の際に陸軍が設けた野戦病院の跡、また山部隊野戦病院の要員と積徳高女所属の学徒看護隊の有志が建てた患者の合祀碑があります。
しかし沖縄戦の貴重な歴史史跡であるが、良好な保存状態にほど遠い状態です。



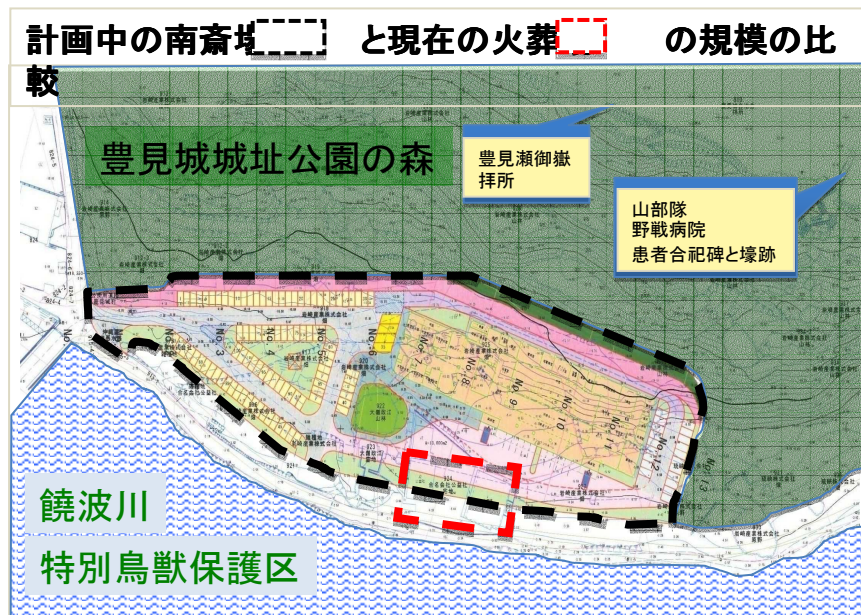
沖縄戦 山部隊野戦病院壕 戦跡



山部隊患者合祀碑

とよみ大橋から望む緑のスポット豊見城城址公園の森に大規模開発計画 —「南斎場」の建設と河岸の道路整備—

豊見城城址公園の北東、饒波川沿いの森約4,000坪を切開き豊見城市と糸満市、南城市、南風原町、八重瀬町、与那原町の3市3町の葬祭場を建設する(100台分の駐車場、道路3路線含む)計画が進んでいます。



何もこんなに大きくしなくても。。。。

都心に残されたわずかな自然をこれ以上失いたくないよ。

豊見城市長の宜保晴毅さんは市議だったとき「この一帯を市が買い戻して水鳥と市民の楽園として整備してはどうか」と言ってたんだ。素敵じゃない？そんなふうにしてほしいよ！



<南斎場計画の経緯>

南部広域市町村圏事務組合には、既に那覇市、浦添市共同運営の「いなんせ斎場」(建設事業費18億円)がありますが、これと別に南斎場を建設する計画です。この地域は起伏が厳しいため、建設費用も膨らんでいます。

これに関連しますが、2005年に公園を所有する岩崎産業(鹿児島県鹿児島市)が豊見城市に売却を打診した事が新聞で報じられています。売却の提示価格は55億円。しかし当時、市は財政余力が無い事などを理由に購入する考えがない事を伝えたと言われています。

現在の計画では、南斎場の基本設計部分の事業費は約26億円、道路3路線約33億円の計約59億円。

<南部広域市町村圏事務組合とは>

火葬場やゴミ焼却場など大型公共施設を自治体が共同で建設運営しコスト低減を行う。旭町の自治会館6F南部広域市町村圏事務組合 南斎場建設課が担当(098-963-8213)。周辺道路は豊見城市 振興開発課が担当(098-850-0024)。

自然と文化が調和した
人が住み良い街作りを

キョウジョシギ



もともとこの地では小さな火葬場が周囲の森や川と共存する形で運営されています。計画のような大規模な拡張は自然や動植物の生態系を損なってしまいます。

火葬場側の川沿いには琉球王朝時代の重要なルートの「真珠道(まだまみち)」と呼ばれた小さな里道があり、埋蔵文化財の宝蔵地に位置づけられ、歴史文化において価値が高いと思われます。例えばこの真珠道を観光資源に活かすなど自然と共存可能な計画は考えられないでしょうか。

「人が住み良い、子供が育てやすい街作り」には豊かな水辺や森の生態系など自然と歴史、文化との調和が重要です。



ベニシオマネキ

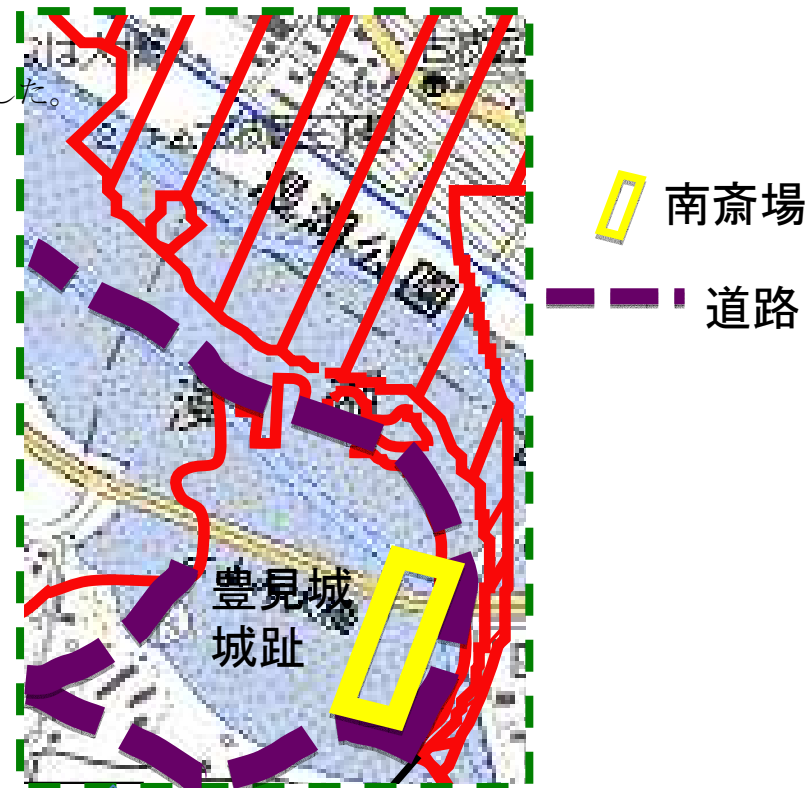
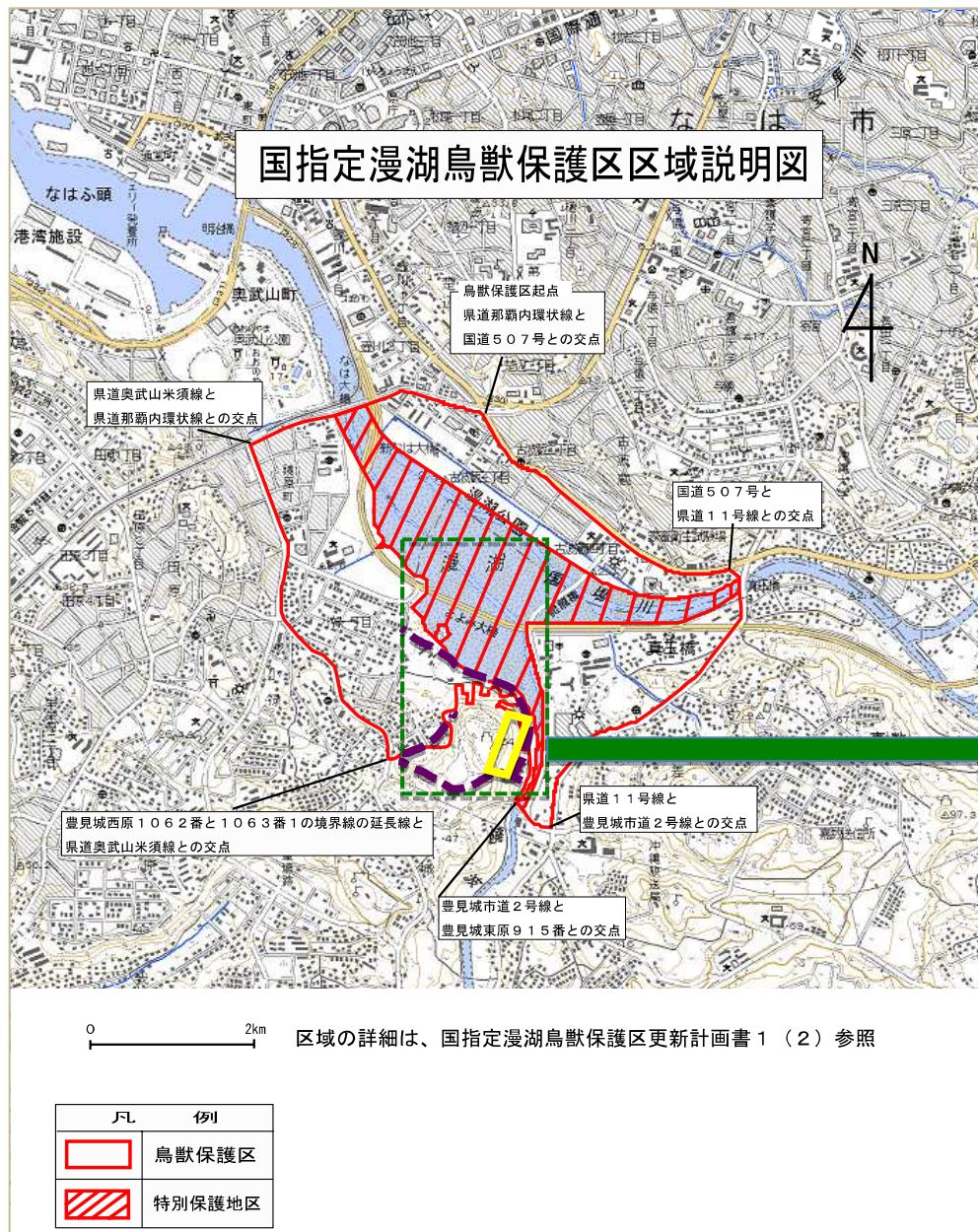


発行
沖縄・生物多様性
市民ネットワーク
豊見城支部

代表: 瀬長 修
TEL&FAX 098-850-6540
E-mail:
okinawaBD_tomigusuku@yahoo.co.jp

南斎場とアクセス道路の予定位置 概要

*道路計画予定図は資料配布なく、閲覧のみであったので概要を描図した。



その昔とみぐすく城は深い
緑と水辺を併せた総合美とし
て存在していました。この様
な道路建設が成されれば、
その後の開発行為を容易に
し、水鳥の楽園はおろか、美
しい城趾そのものを失ってし
まうのではないのでしょうか・・・。



生物資源としての研究開発機関



沖縄県に立地するバイオ系のベンチャー企業など

Kume Island

- Point Pyuru Ltd
- Bio marine Corporation



• OP Biofactory Co. Ltd.



【Okinawa National College of Technology】



【Okinawa Institute of Science and Technology】

• Ryuku Bio Resource Co. Ltd.

• Coral Bio Tech KK



【Okinawa Health Biotechnology Research and Development Center】

• The institute of biological Resources



【University of Ryukyus】

• Lequio Pharma Co. Ltd.

- Tropical Plant Resources Institute, Inc.
- South Product Co., Ltd.
- HaploPharma Inc.
- DNA Bank Retail Inc.
- Lequio Pharma Co. Ltd.
- EM research Organization, Inc

• GenoLac BL Corporation



【Okinawa Industry Support Center】

- Axiohelix Co. Ltd.
- Somnoquest Co. Ltd.
- GenoLac BL Corporation
- OP Biofactory Co. Ltd.

- Bio21 Co. Ltd
- Uruma-Bio Co. Ltd

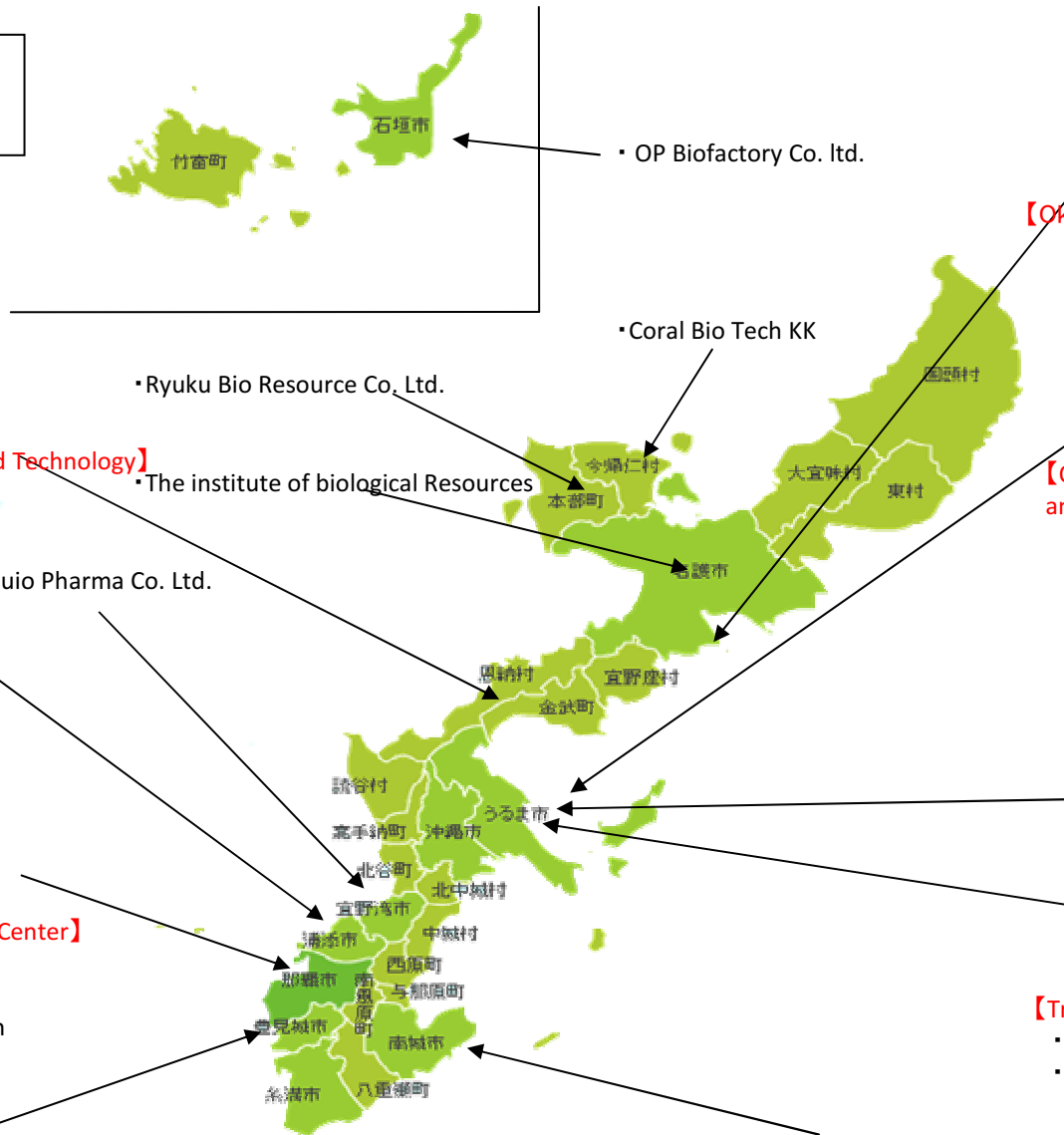


【Tropical Technology Center Ltd.】

- C. I. Bio Incorporated
- R-BIO Co., LTD

• Sun Okinawa Co. Ltd.

• AMBiS Corporation

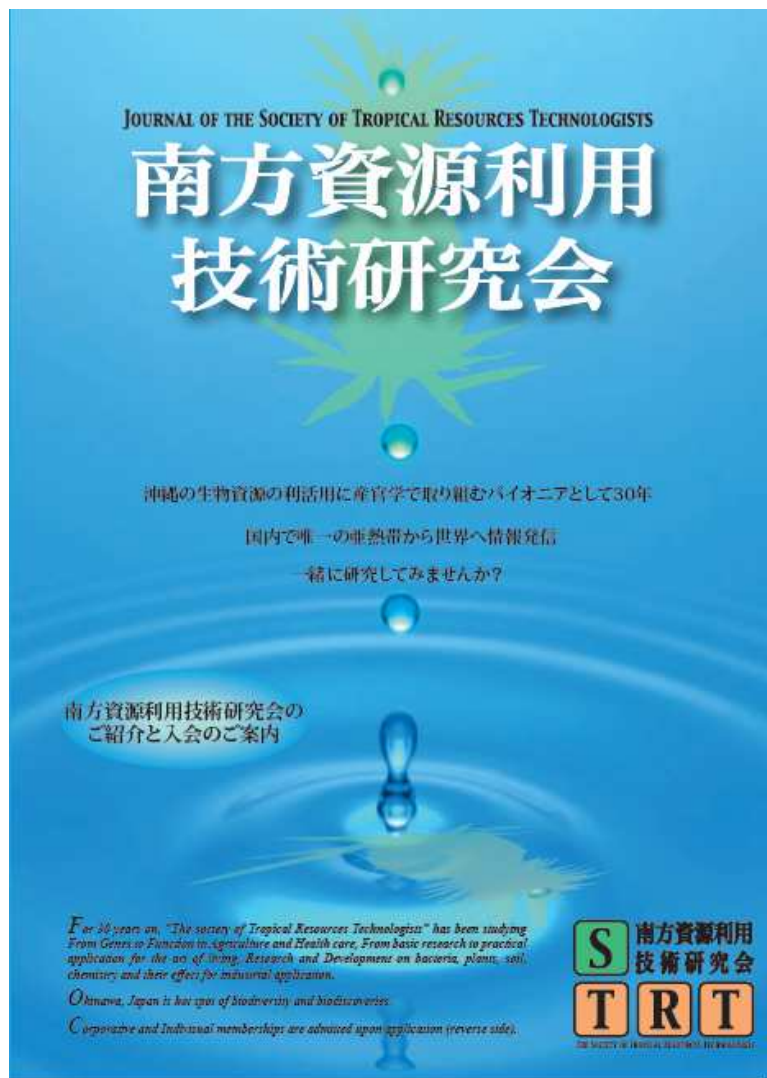


Top 10 Biocluster sites in Japan
(Japan Bioindustry Association Report 2009)

図表19 都道府県別トップ10

Total companies	トップ10／企業数		人口百万人あたりトップ10 ／百万人当たり企業数		Companies Per capita(million)
Tokyo 156	東京都	156	東京都	12.4	Tokyo 12.4
Kanagawa 67	神奈川県	67	京都府	10.5	Kyoto 10.5
Hokkaido 35	北海道	35	沖縄県	9.5	Okinawa 9.5
Osaka 33	大阪府	33	神奈川県	7.6	Kanagawa 7.6
Kyoto 28	京都府	28	北海道	6.2	Hokkaido 6.2
Chiba 27	千葉県	27	香川県	4.9	Kagawa 4.9
Hyogo 25	兵庫県	25	兵庫県	4.4	Hyogo 4.4
Ibaraki 24	茨城県	24	千葉県	4.4	Chiba 4.4
Aichi 22	愛知県	22	秋田県	4.3	Akita 4.3
Fukuoka 16	福岡県	16	石川県	4.2	Ishikawa 4.2
			茨城県	8.0	Ibaraki 8.0

“Okinawa is hot spot of Bio-tech companies.”



沖縄に於けるバイオ分野の産学官共同研究 Inter-organ, cross-disciplinary studies in Bio-tech

- 南方資源利用技術研究会 (**STRC**)
The Society Tropical Resources Technologist
(est. 1981)
- 沖縄県地域結集型共同研究 (**TTC**)
～亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発～
Tropical Technology Center Limited
(2002—2007)
- マリンバイオ産業創出事業 (**OSTC**)
Okinawa Science and Technology Promotion Center
(2008-2011)
- 亜熱帯特性を有する微生物に関する研究 (**OML**)
Okinawa Microbial Library
(2006～2010)
- チャンプルースタディー (**Chample**)
University of the Ryukyus
Chample Study 1-5
(2005-present)

- 健康ビジネス支援事業 (**NIAC**)
Nansei shoto Industrial Advancement Center
(2007–2009)

沖縄微生物の探索と研究



土壌 海洋 植物 食品 昆虫

収集・分離・培養



性状評価・機能性評価



遺伝子解析



ライブラリーへ登録

Tropical Microorganism Screening

From soil, plant, food ,insect

Collect, Separate, and Culture Bank

Characterise, Functional study

Genomic Analysis

Data Bank

沖縄県生物多様性地域戦略策定検討委員会
平成23年度 骨子とりまとめ から 24年度 戦略策定

	氏 名	役職等	所 属（専門）	備 考
1	土屋 誠	教授	琉球大学（生態学）	
2	横田 昌嗣	教授	琉球大学（細胞遺伝学）	
3	前門 晃	教授	琉球大学（地形学）	
4	芝 正己	教授	琉球大学（森林科学）	
5	久保田 康裕	准教授	琉球大学（群集生態学）	
6	桜井 国俊	教授	沖縄大学（環境学）	
7	仲田 栄二	非常勤講師	沖縄国際大学・名桜大学（植生学）	
8	備瀬 ヒロ子	取締役・顧問	(株)都市科学政策研究所	
9	植田 明浩	所長	環境省 那覇自然環境事務所	
10	佐藤 隆幸	署長	林野庁 九州森林管理局 沖縄森林管理署	
11	花井 正光	会長	NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会	
12	吉川 秀樹	事務局長	沖縄・生物多様性市民ネットワーク	
13	金城 秀之	専務理事	沖縄県農業協同組合中央会	
14	前城 統	代表理事専務	沖縄県漁業協同組合連合会	
15	上里 均	代表理事専務	沖縄県森林組合連合会	
16	金本 昭彦	代表取締役	オーピーバイオファクトリー(株)	

はじめに	
生物多様性地域戦略策定の背景	2
第1章 生物多様性についてと戦略策定にあたっての基本姿勢	
第1節 生物多様性について	5
1 生物多様性とは	5
2 生態系サービスについて	6
3 沖縄における生態系サービス	6
第2節 世界の生物多様性について	12
1 世界の生物多様性の現状	12
2 日本の生物多様性の現状	12
第3節 沖縄県の生物多様性について	13
1 沖縄県の生物多様性の現状と課題	13
2 地域ごとの現状と課題	16
3 沖縄県の生物多様性の課題	27
第2章 基本姿勢と目標	
第1節 基本姿勢(項目移動 タイトルは要検討)	28
1 地域戦略策定の主旨	28
2 位置付け	28
3 地域戦略の対象地域	29
4 目標年次と戦略の見直し	29
第2節 目標	29
1 目指すべき方向将来像と望ましい地域のイメージ	29
2 基本理念(項目移動) 基本的視点	32
3 目標	33
第3章 行動計画	
第1節 施策ごとの取組	35
1 生物多様性の損失の阻止及び抑制	35
2 生物多様性の保全、維持及び再生	36
3 生物多様性と自然資源の適切な利用	37
4 生物多様性に対する認識の向上	37
5 県民参加を促す取り組み	38
第2節 地域に応じた取組	38
1 圏域別の取り組み	38
第4章 推進体制	
第1節 主体ごとに期待される取組	39
1 行政に期待される取組	39
2 県民に期待される取組	39
3 民間企業等に期待される取組	39
4 大学等研究機関に期待される取組	39
第2節 連携して実施する取組	39
第3節 進行管理	39
第5章 情報の整備と技術開発	

1 情報の整備	40
2 生物多様性保全に関する技術の紹介、開発	40

骨子(たたき台)第3稿

骨子(たたき台)第3稿から ABS 関連部分を抜粋

○この条約は、生物全般の保全に関する包括的な国際枠組みを設けるために作成されたもので、その目的には、「生物多様性の保全」、「その持続可能な利用」及び「遺伝資源から得られる利益の公正かつ衡平な配分」が掲げられている。

- ・ 地域戦略へのABSの取り込みは極小に留まっているのが現状。
- ・ しかし問題意識は高まりつつある。

日本経済新聞 2010/12/14 抜粋

これまで見つかっているものより10倍以上も高い効率で 石油とほぼ同じ成分の油を作り出せる藻類を、筑波大の渡辺信教授らが発見した。

大規模に育てて油をとれば、1リットルあたり50円程度で 安価に石油の代替燃料を生産できる見通しという。

量産法や最適な抽出法などの開発が必要なため、本格的な商業生産には10年程度かかるとみている。

新しい藻類は「オーランチオキトリウム」。沖縄地方の海で発見した。

現在の制度では沖縄への経済効果はゼロ！

2011年11月9日

産業革新機構、アルツハイマー型認知症向け根本治療薬の開発を目指す ～ アーリーステージ・創薬ベンチャーへの投資 ～

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)は、株式会社ファルマエイト(以下「ファルマエイト」)の第三者割当増資を引受け、前臨床試験等の医薬品開発の初期段階に必要な資金(5.5億円)への投資を決定、実行いたしました。

ファルマエイトは、アルツハイマー型認知症の根本治療薬の開発を目指している京都大学発の創薬ベンチャー企業です。アルツハイマー型認知症は、高齢化社会においては極めて医療ニーズの高い疾患であり、対症療法から脱した根本治療薬の開発が世界的に求められています。ファルマエイトは、独立行政法人理化学研究所(以下「理研」)と共同研究を行うことにより、理研創薬・医療技術基盤プログラムの支援及び理研の最先端技術を利用するとともに、アルツハイマー研究の最先端の知見も活用して、当該薬の開発を行っていく予定です。

INCJは、本投資を通じて、前臨床試験等の医薬品開発の初期段階に必要な資金を供給するとともに、開発計画策定、知的財産の集約と強化、研究からビジネスへの移行のための開発体制の構築を支援します。さらに、これにより生まれる、信頼性のあるデータと知的財産の活用によって、製薬企業への円滑な橋渡しを目指し、国内アカデミア発ベンチャー企業と製薬企業間の医薬品開発におけるオープンイノベーションを推進します。

ウコンがアルツハイマーに有効と言う伝承からスタートし、沖縄で研究開発を実施したが現在の制度では沖縄への経済効果はゼロ！